

育成会だより



第100号令和3年12月 発行

東大阪市手をつなぐ育成会  
(年3回)

(題字 故吉岡名誉顧問)

## 100号発刊にあたって

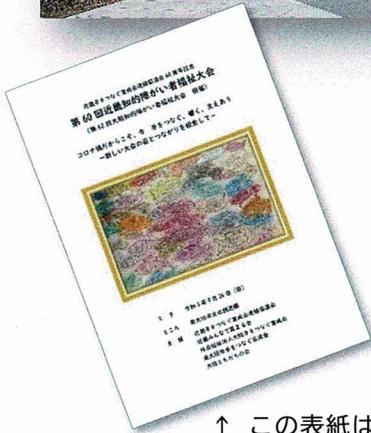
会長 坂本 ヒロ子

みなさん、おげんきですか？

新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言は解除されましたが、第六波は来ると言われています。気をゆるめることなく「手指の消毒」「マスク着用」「換気」「密をさける」は継続したいと思っています。

コロナ禍ではありましたが、9月26日(日)第62回大阪知的障がい者福祉大会(第60回近畿知的障がい者福祉大会と併催)が東大阪市の大阪手をつなぐ育成会所属団体が実行委員となり、東大阪市文化創造館で開催されました。前回東大阪市で開催されたのは、19年前の平成14年でした。今回いろいろな制約はありましたが、式典では東大阪市長 野田 義和様、東大阪市議会議長 山崎 毅海様にご挨拶をいただき、東大阪市、東大阪市教育委員会、東大阪市社会福祉協議会をはじめ多くの皆さんからのご支援ご協力をいただき、新しい姿の大会を実践することができました。

ありがとうございました。



↑ この表紙は、社会福祉法人 青山会利用者 真鍋祐子さんの作品です

この度、平成2年3月に創刊した 東大阪市手をつなぐ育成会 の機関紙“希い”は今号で100号を迎えるました。創刊当時、東大阪市手をつなぐ親の会は通所の認可施設として、東大阪福祉作業所(現在のとうふく)を生み出し、無認可の布施福祉作業所を親の会の傘下で運営しておりました。その当時、東大阪市手をつなぐ親の会は目標として

- (1) 無認可作業所づくり(後に続く人達のために)
- (2) 緊急一時保護(冠婚葬祭、保護者の不慮の事故、病気などのために)
- (3) 宿泊訓練(自立生活 一グループホームーに向けて)
- (4) 入所施設の建設

の4項目をあげ、その実現に向けて活動の活性化を図っていきたいと書かれておりました。あれから31年、障害福祉を取り巻く環境は随分かわりました。毎年総会で、その年の目標をかけ、その達成に向け、活動してきました。

現在まだ残っている課題として障害者理解、合理的配慮、成年後見制度、障害者基礎年金、防災対策等が上げられます。

先日の大阪知的障がい者福祉大会の講演の中で全国手をつなぐ育成会連合会の久保会長は

- ◎ 育成会は障害者団体の中でも老舗中の老舗
- ◎ 引き継ぐ活動と変化していく活動を見分ける
  - ・今の活動は明るく、楽しく、オープンに
  - ・入会者(会員)を心からサポート
  - ・新しいアイディアが提案でき、取り入れる
  - ・信頼、親睦、コミュニケーション、誇り、向上などが大切
- ◎ 今こそ、育成会活動が必要(先ずは、一步踏み出そう)

と述べられました。

この度、平成22年より 社会福祉法人青山会 第二東福3階に構えておりました 東大阪市手をつなぐ育成会 の活動拠点と 相談室「希い」の移転をお願いされました。長い間、お世話になりました。

移転先は難航しておりましたが、この度決まりましたので、皆様にこの紙面でお披露目させていただきます。

この建物を見学させていただいた時、東大阪市手をつなぐ育成会が展開しようとしている事業の活動拠点としての条件がこのうえなく整っており、「まさに神様が下さった小さな贈り物！」との声をいただき、ここを大きく育てなくてはと思いました。

この建物を今後の活動拠点として活動していくのですが、この建物を皆さんのお意見で  
コミュニティハウス「ともにて」と名付けました。

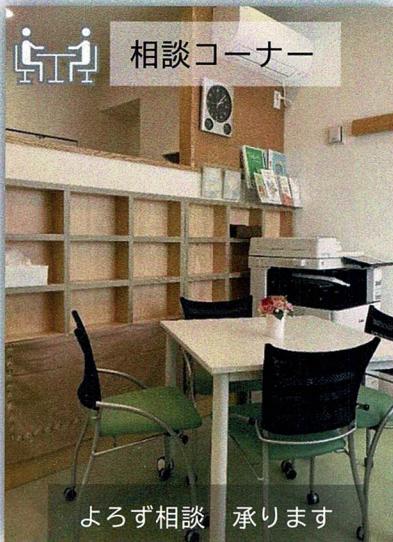
「ともにて」と「希い(ねがい)」は東大阪市手をつなぐ育成会のキーワードとなることばです。  
「ともにて」は障害者理解の啓発キャラバン隊の名前としても使用していますし、「希い」はこの機関紙と相談室に使用しています。

この場所 活動支援拠点コミュニティハウス「ともにて」が親による相談の場所として、また、知的障害のある人や関係者が気楽に集まり雑談や催し、学習会等の場所に、そして地域の皆様にも愛される場所になればと願っております。

ぜひ一度ご覧いただき、皆さんからのご意見、ご希望をお寄せ下さい。お待ちしております。

# コミュニティハウス 「ともにて」

1 階



よろず相談 承ります



鬼ごっこもできそう



皆でクッキング！  
何が出来上がるのかなあ

1階はバリアフリー対応



## 車いすも入れる広いトイレ



段差なく上がれます



玄関前はスロープと手すり



正面からの全景で～す

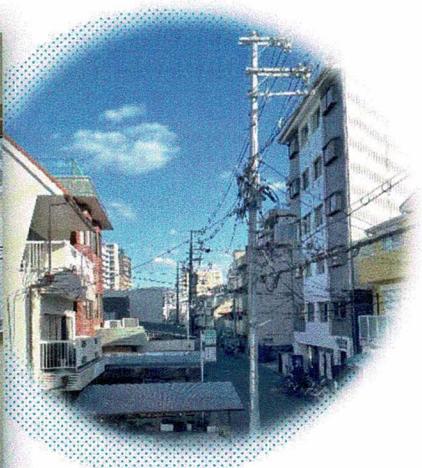
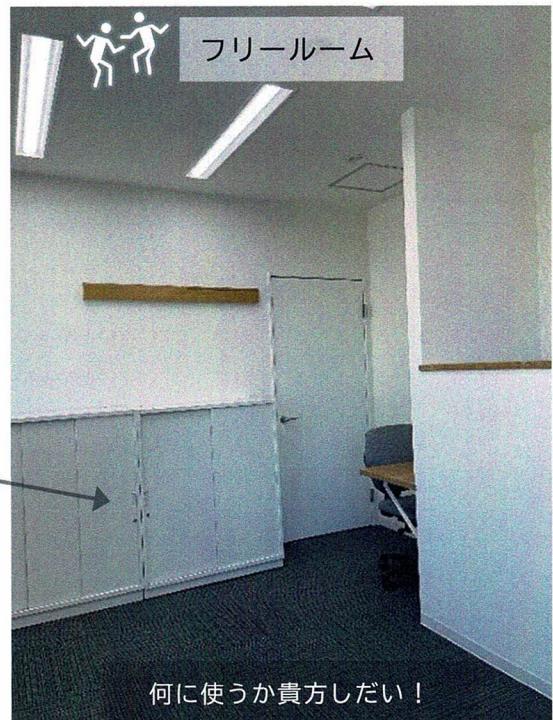
【最寄り駅】近鉄奈良線 小阪駅から300m（徒歩4分）

八戸ノ里駅から450m（徒歩7分）



〒 577-0801 東大阪市小阪 2 丁目 6-33  
TEL/FAX 06-6781-5600

## 2階



私が機関紙“希い”の担当をさせてもらうようになったのは  
第42号(平成14年6月)からです。  
どうしたら見やすく、読みやすいか考えながら作成してきました。  
評価はどうあれ、長年活動の一部を担う事ができ感謝です。  
これからも、微力ですが力になっていきたいと思います。

坂田